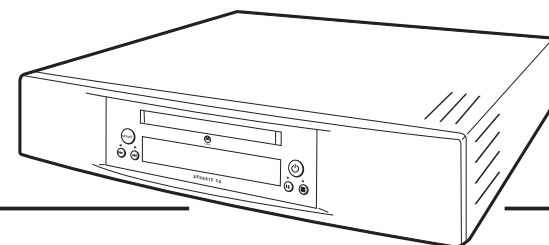


LINN

AKURATE CD

プレーヤー



オーナーズマニュアル

日本語

安全に関する重要事項

製品のリアパネルまたは底面に付されたマークについて：



危険な電圧が存在することを警告するものです。
感電を引き起こす可能性があるため注意が必要です。



説明書やサービスマニュアルにおいて、
操作、メンテナンス、サービス上の重要な事項を示すマークです。

本機を主電源に接続する場合

注意

感電の恐れがあるため、カバーを取らないでください。

ユーザーが修理・調整すべき内部部品はありません。

サービスは有資格の技術者に一任してください。

電源プラグのヒューズは、同タイプ、同定格のものと交換してください。

ヒューズ交換は、電源コードを抜いてから行ってください。

警告

火災や感電事故を防止するため、本製品を雨にあてたり、湿気の多いところに置いたりしないでください。感電の危険があり。一 開けないでください。

電源コードとプラグ

販売する国により、製品には改造不可の電源プラグが付いています。

交換用電源コードは販売店でお求めください。プラグ交換が必要な場合、注意して処分してください。導線が露出したプラグをコンセントにつなぐと危険です。

茶色のワイヤは Live ピンに接続します。

青いワイヤは Neutral ピンに接続します。

緑／黄色のワイヤは Earth ピンに接続します。

少しでも疑問があれば、販売店か技術者にご相談ください。



製品のフューズおよび消費電力については、各製品のリアパネルあるいは底面をご参照下さい。

安全注意事項

1. 説明を読む：
2. 説明書を保管する：
3. 警告に従う：
4. 指示に従う：
5. 本機をバスタブ、洗面台、台所流し、洗濯槽などの近く、高湿度の地下室内、プールサイドなど、水のそばや湿気の多い場所では使用しないでください。
6. お手入れは、乾いたクロスで行ってください。
7. 換気口はふさがらないでください。製造者の指示に従って設置してください。適切な換気ができる位置と向きに設置してください。例えば本機をヘッド、ソファ、ラグなどの上に置くことは、通風口を塞ぐ恐れがあるため、避けるべきです。造り付けの書棚やキャビネット内も通風口からの空気の流れを妨げることがあるため、不適當です。
8. ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ (アンプを含む) などの熱を発生物のそばに設置しないでください。
9. 安全性を高める分極プラグ、アース付きプラグの目的を遵守してください。分極プラグには一方が他より広い2つのブレードが付いています。アース付きタイプのプラグには、2つのブレードのほかアース用の突起があります。この3番目の突起は安全を守るためにあります。製品に付属するプラグがご使用のコンセントに合わない場合は、電気技術者に相談の上、旧型コンセントを取り替えてください。
10. 電源コードは、踏まれたり、他の物に引っかかたりしないように配置してください。特に、プラグ、電源コンセント、本体を出る個所に注意が必要です。
11. 製造者指定の付属品以外は使用しないでください。
12. スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造者指定の物、または本機と共に販売された物以外は使用しないでください。
13. 雷が鳴っているとき、また長期間使用しない場合は、本機器の電源プラグを抜いてください。
14. サービスは有資格の技術者に一任してください。電源コードやプラグの破損、製品内部に異物や液体が入ったとき、製品が雨や湿気にさらされたとき、正常に作動しないとき、あるいは製品を高いところから落としたときなどは、専門技術者による修理調整サービスが必要となります。
15. 壁や天井への取付：壁や天井に取り付ける場合は、必ず製造者の指示に従ってください。

16. **電源** : 必ず、操作説明書や製品本体に記載されたタイプの電源に接続してください。
17. **電源プラグ** : 本体の主電源を切断するには電源プラグを抜いてください。電源プラグは常に手の届きやすい場所に設置します。本製品を使用していないときは、電源スイッチ (該当する場合) を使用してください。
18. **電線** : 屋外アンテナは、電線から離して設置してください。
19. **屋外アンテナの接地** : 本製品に屋外アンテナを接続する場合は、電圧サージと静電気蓄積から保護するために、アンテナをアースする必要があります。米国の場合、設置に関しては National Electrical Code ANSI/NFPA 70 の 810 項を参照してください。
20. **電話線** : 本製品は、特に指示のない限り、電話線に接続しないでください。
21. **異物や液体の混入** : 本機器内部に異物や液体を入れないでください。水しぶきがかかる場所に置かないこと。液体の入った容器を本機器の上に載せないでください。
22. **火のついたろうそくなどの裸火が本製品に触れないようにしてください。**
23. **本製品は温和な気候や熱帯気候で使用できるよう設計されています。**

CE 遵守宣言

リン・プロダクツ・リミテッドは、本製品が低電圧に関する指令 73/23/EEC および電磁互換性に関する指令 89/336/EEC (92/31/EEC および 93/68/EEC により修正) に準拠することを明言いたします。

当該製品が 73/23/EEC (LVD) 指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN60065	2002	一般要件 マーキング 危険性のある放射物 通常条件における発熱 通常の作動条件における感電の危険 作動条件 絶縁要件 故障の要件 機械的な強度 電源に接続する部品 コンポーネント 端子装置 外部フレキシブルコード 電気接続と機械的な固定具 感電に対する保護 安定性と機械的な危険 耐火性

当該製品が 89/336/EEC (EMC)指令の規定に従っている事実は、下記の各規準を遵守することにより証されています。

規準番号	制定年	試験形式
EN55013	2001	誘導排気
EN55013	2001	吸収排気
EN55020	2002	免責

FCC 通告

注記

本機器は試験審査の結果、FCC 規則第 15 部により、クラス B デジタル機器の限度内で作動することが認められました。この限度は、一般家庭用機器の設置における有害な干渉に対し、妥当な保護を提供するために定められたものです。本機器は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用されない場合、無線通信に干渉するかもしれません。しかし、特定の設置条件により干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信を妨害するようであれば、本機器のスイッチを切ったり入れたりすることで、確認できます。次のような方法のひとつで、あるいはいくつかの方法の組合せで、干渉が改善されるかどうかお試しください。

- 受信アンテナの方向を変える。または位置を変える。
- 本機器とレシーバーの距離を離す。
- レシーバーが接続されている電源の回路とは別の電源に本機器を接続する。
- 販売店またはラジオ／テレビの専門技術者に相談する。

著作権と商標記載に関するお断り

Copyright © 2007 Linn Products Ltd. 2007年5月初版

Linn Products Limited, Glasgow Road, Waterfoot, Eaglesham,
Glasgow, G76 0EQ, Scotland, United Kingdom

すべての権利を留保します。発行者の書面による許可なしには、本書のいかなる部分も、いかなる形式であれ、また電子的、機械的、複写、録音、録画その他いかなる手段であっても、複製、使用可能な形での保存、転送をすることはできません。

本マニュアル記載の情報は、情報提供だけを目的としており、予告なく変更されることがあります。またリン・プロダクツ・リミテッドが内容を保証するものではありません。リン・プロダクツ・リミテッドは、本マニュアルに誤りや不正確な記述があったとしても、それに対する責任を負うことはありません。

Linn (リン) および **Linn のロゴ** は、Linn Products Limited の登録商標です。

AKURATE および **KNEKT** は Linn Products Limited の商標です。

「DTS」および「DTS 2+Digital Out」は Digital Theatre Systems, Inc の商標です。

「Dolby」および「Pro Logic」は Dolby Laboratories の商標です。

「DVD Logo」は DVD Format/Logo Licensing Corporation の商標です。

リン・プロダクツ・リミテッドでは、弊社以外の商標・商品名に対する所有権を主張することはありません。

英国にて印刷。

パック 1318/J

目次

はじめに	1	ディスクナビゲーションコントロール	11
音声出力	1	トラックのスキップ	11
ディスクのタイプ	1	サーチ	11
		早送りスキャン	11
設 置	2	ダイレクトトラックアクセス	12
開 梱	2	その他のコントロール	12
設置する	2	トラックの繰り返し再生	12
清 掃	2	Repeat (繰り返し再生)	12
接 続	3	Shuffle (シャッフル)	13
背面パネル	3	Program (プログラム) 追加と除外	14
アナログ音声出力の接続	4		
デジタル音声出力の接続	4	ユーザーオプション	15
電源の接続	4	ユーザーオプション一覧	16
前面パネルとリモコン	5	仕 様	18
前面パネル	5	保証とサービス	19
リモコン	6		
リモコンモード	7		
操 作	8		
基本コントロール	8		
スタンバイモード	8		
ディスクの再生	8		
ディスプレイ	9		
ディスク情報の表示	9		
SACDの再生	10		
DVD オーディオの再生	10		

はじめに

LINN は30年以上も前に、ひとつのシンプルな真実から誕生しました。それは、サウンドシステムがより正確に音を再生すれば、より大きなインパクトを聴き手にもたらすことができるということです。

リンのAKURATE CDプレーヤーは、CDを始め、DTS オーディオCD、高解像度SACDおよびDVD オーディオなどの音声フォーマットを、卓越した水準で再生する高度なマルチフォーマット・ディスクプレーヤーです。AKURATE CDプレーヤーは、再生するいずれのフォーマットにおいても、そのクラス最高のパフォーマンスを発揮します。

AKURATE CDプレーヤーは、リンのAKURATE KONTROL プリアンプおよびAKURATE パワーアンプシリーズと組み合わせてお使いいただくのに最適です。さらにAKURATE チューナーおよびAKURATE スピーカーを加えて、トータルなAKURATE システムを構築し、この専用設計の音楽システムがお届けする比類なき音質をお楽しみください。

音声出力

AKURATE CDプレーヤーには、CDやDTS オーディオCD用のアナログ出力とデジタル出力が装備されています。SACDやDVD オーディオからの音声信号はアナログ出力のみとなります。これらのディスクタイプについては、デジタル端子からの出力はされません。AKURATE CDプレーヤーは、デフォルトでは2チャンネル(ステレオ)出力用に設定されています。しかし本機をマルチチャンネルとして設定すれば、SACDやDVD オーディオ、DTS オーディオCDから、6チャンネルのアナログ音声を出力することができます。詳細は「ユーザーオプション」の「チャンネル設定」の項(17ページ)をご参照ください。

ディスクのタイプ

下記ロゴの付いたディスクまたは下記タイプのフォーマット使用のディスクは、本機と完全に互換性があります。



さらにAKURATE CDプレーヤーは、ほとんどのコピー防止機能付きオーディオディスクも再生できます。

重要事項

上記全てのディスクについて国際的な互換性を確保するためあらゆる努力を行っていますが、現在販売されているまたは今後販売予定のあらゆるディスクに対し、本機の全ての機能が完璧に動作することを保証するのは不可能です。

弊社では、現在入手可能なディスク多種をテストしてきましたが、現在販売されている多くのディスクが自社の公表する仕様や認証済みの正式仕様に合致していません。このため、特定のディスクが再生できないことに対し、責任を負うことはできません。本機で再生できないディスクがあり、他社のプレーヤーで再生することができたとしても、それは本機に欠陥があることを示すものではありません。

本機の性能向上に役立つこともあるため、疑わしいディスクを提出していただくことを歓迎するものではありませんが、そうしたディスクの再生方法を学ぶ可能性について弊社が何らかの保証をしたという根拠に基づいてエンドユーザーからディスクを受領することはできません。

特殊形状ディスク

ハート型、名刺サイズなどの特殊形状ディスクは再生しないでください。プレーヤー破損の原因となります。

設置

本章では、本機の設置およびプリアンプやシステムコントローラーへの接続の仕方を説明します。

重要：

AKURATE CD プレーヤーの設置と設定は、正規販売店に依頼されることをお勧めいたします。

開梱

製品には、以下の付属品が同梱されています。

- 蓄光リモコン
- リモコン用単4乾電池 (2本)
- 接続ケーブル (黒) 1組
- 電源コード
- 保証書パック
- 本マニュアル

将来の輸送などに備えて、梱包材や箱は保管しておいてください。

設置する

AKURATE CD プレーヤーはお好みの場所に設置できますが (取付けキットが用意された 19 インチラックも使用可能です。販売店にお問合せください)、下記の点にご留意ください。

- 本機は水平で安定性のある硬い表面に配置してください。
- 赤外線リモートセンサーが太陽光に含まれる赤外線を検出して本機の動作に悪影響を与えることがあるため、ディスプレイに太陽光 (直射日光、拡散光、反射光) が当たる場所には配置しないでください。プラズマテレビ、蛍光灯や省エネタイプの照明などの電気製品にも、本機の動作に同じような影響を与える赤外線を放出しているものがあります。
- 最高の性能が得られるよう、本機は他の製品と積み重ねないでください。理想的には、本機を単独で棚に配置するか、やむを得ず他の製品と近接した位置になる場合は、積み重ねずに左右に並べる方がよいでしょう。
- 本機は放熱板やパワーアンプなど、発熱量の多い装置の真上や隣接した場所に配置しないでください。またこのような装置と一緒にキャビネットに入れないでください。
- 本機上および側面には、少なくとも 10 cm (4 インチ) の空間を空けてください。
- 本機に設けられた通気孔を塞がないで下さい。

重要：

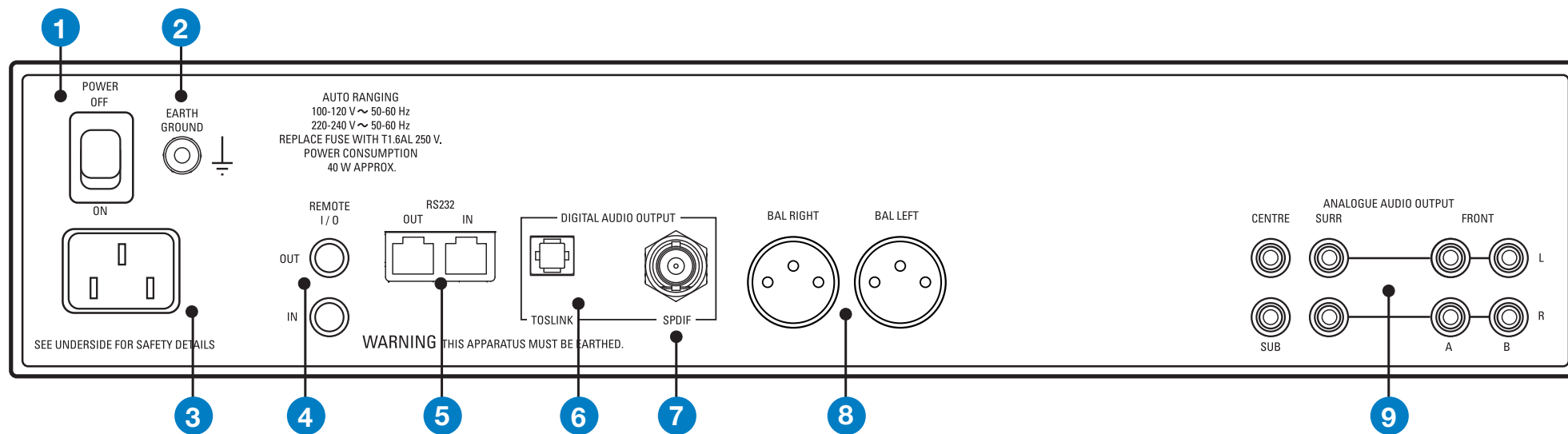
ガラス戸の向こうに本体を置いた状態でディスプレイを開けないようご注意ください。ディスプレイのメカニズムを損なう場合があります。

清掃

機器の清掃は電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。ホコリや指紋は柔らかい乾燥した布で拭き取ってください。家庭用クリーナーは使用しないでください。

接続

背面パネル



1 電源スイッチ

2 **EARTH GROUND** 主電源にアースが取れない場合、本機をアース端子に接続します

3 電源入力

4 **REMOTE OUT / IN** 弊社のKNEKTシステムのユニットとして使用する際の接続用

5 **RS232 OUT / IN** PCやタッチスクリーンを介した操作用

6 **TOSLINK** オプティカルデジタル入力機能を備えた装置に接続

7 **SPDIF** 同軸デジタル入力機能を備えた装置に接続

8 **BAL RIGHT / LEFT** バランスXLR出力

9 **ANALOGUE AUDIO OUTPUT** ライン出力端子 プリアンプまたはシステムコントローラーに接続するライン出力

注記：

SACDからの音声信号はアナログ出力のみとなります。これらのディスク形式については、デジタル出力はありません。



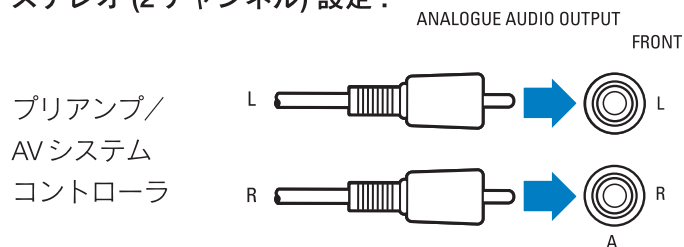
AKURATE CDの背面パネルの端子接続を行う場合、接続を外す場合には、まず本体のメインスイッチを切り、電源からコードを外してください。これを行わないとサージが発生し、本機器や他のAV機器に損傷を与える恐れがあります。

アナログ出力を用いた接続

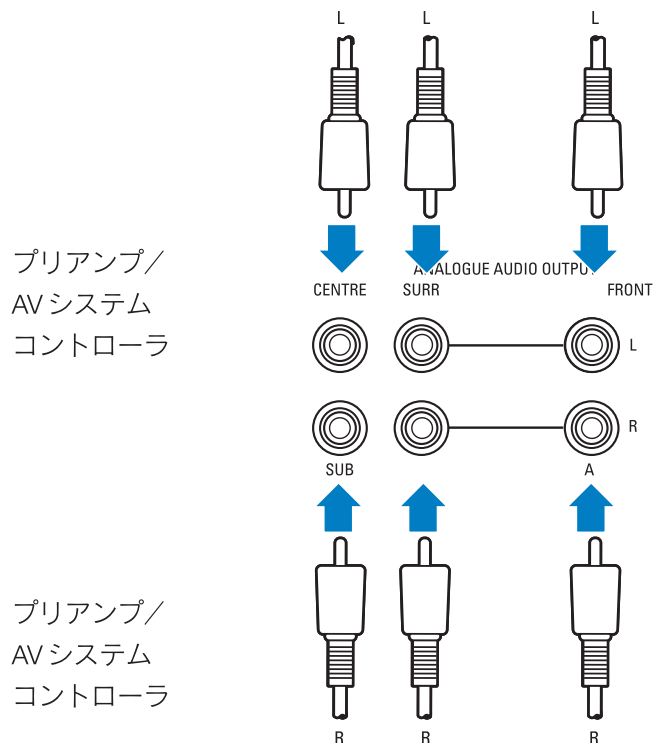
重要:

「チャンネル設定」ユーザーオプションが、ご使用の出力と一致するように正しく設定されていることを確認してください。詳細は「ユーザーオプション」の「チャンネル設定」の項(17ページ)をご参照ください。

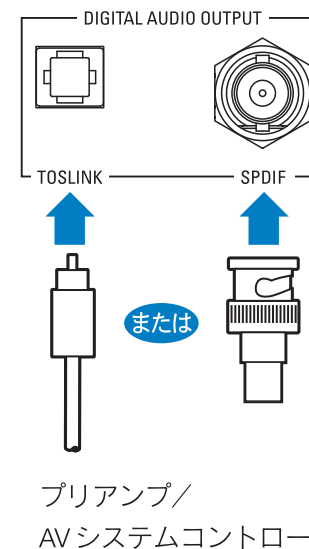
ステレオ (2チャンネル) 設定:



マルチチャンネル設定:



デジタル出力を用いた接続



電源の接続

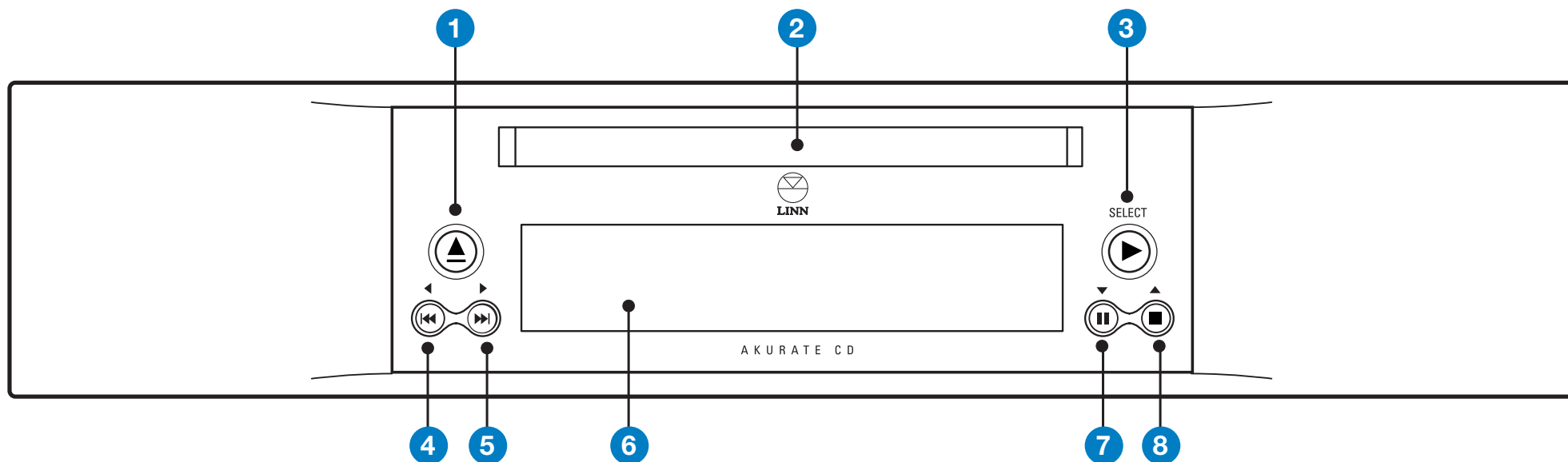
本機は世界中のどの地域の電源にも接続することができ、調整の必要はありません。自動電圧選択 (AVS) 機能を備えており、電源は供給されている電源に応じて自動的に調整されます。



本機器は必ずアースしてください。付属のアース付き成形電源コードを使用してください。アースなしのプラグやアダプターは使用しないでください。

前面パネルとリモコン

前面パネル



① ▲ ディスクトレイの開閉

② ディスクトレイ

③ ► **SELECT** 再生スタート、メニュー内で項目選択。
スタンバイモードにするにはこのキーを押し続けます

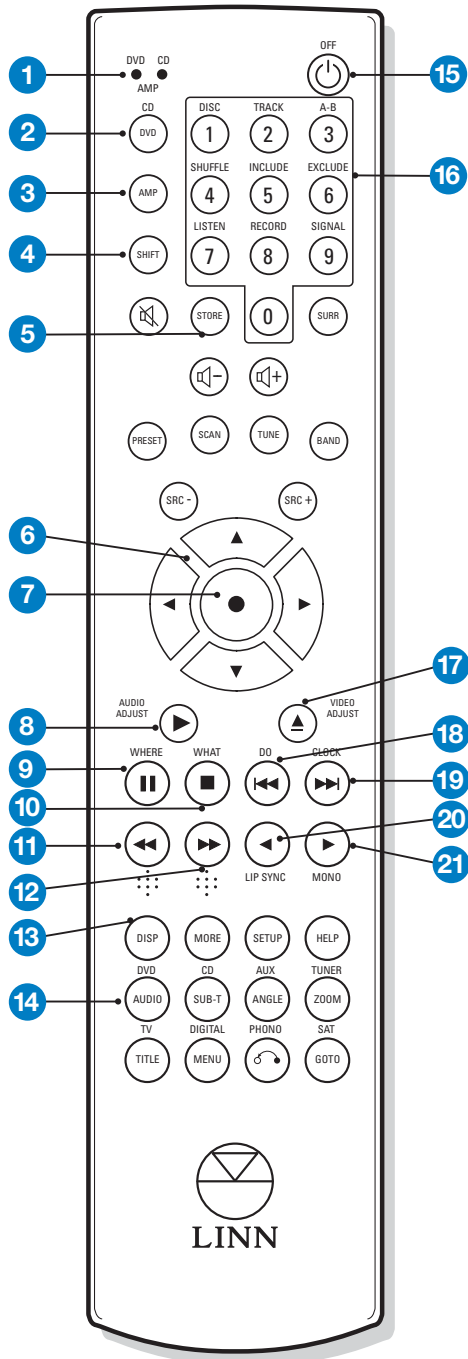
④ ◀◀、◀ 早戻しスキップ/サーチ、メニュー内を左へ

⑤ ▶▶、▶ 早送りスキップ/サーチ、メニュー内を右へ

⑥ 前面パネル

⑦ || ▼ 一時停止、メニュー内を下へ

⑧ ■、▲ 停止、メニュー内を上へ



リモコン

- 1 **LED** リモコンボタン操作時に、リモコンの設定モードを示します
- 2 **DVD / CD** リモコンがDisc (ディスク) モードに切り替わります。AKURATE CDプレーヤーの全リモコン操作を可能にします
- 3 **AMP** リモコンをAmp (アンプ) モードにします (キーの上部分に青色で表示された機能)。LINNのプリアンプ機能の操作を可能にします
- 4 **SHIFT** キーの上部分に赤色で表示された機能を使用できます
- 5 **STORE** ディスク再生の情報を保存します
- 6 $\Delta / \nabla / \triangleleft / \triangleright$ メニューを選びます
- 7 \bullet オプションおよび特定のコマンドを選択／実行します
- 8 \blacktriangleright ディスク再生
- 9 \parallel ディスク一時停止
- 10 \blacksquare ディスク停止
- 11 $\triangleleft\triangleleft$ 早戻し検索
- 12 $\triangleright\triangleright$ 早送り検索
- 13 **DISP** ディスク再生中、前面パネルの時間表示切り替え
- 14 **AUDIO** SACD中のオーディオストリームをスクロール選択します
- 15 OFF スタンバイモードのオン／オフを切り替えます。LINNのスタンバイ対応の全機器に「オフ」(スタンバイ状態になる) コマンドを送ります
- 16 **数字0～9 / シフト機能** 数字キー。キーの上部分に赤色で表示された機能を使用できます
- 17 \blacktriangle ディスクトレイの開閉
- 18 $\triangleleft\triangleleft$ 前のトラック選択
- 19 $\triangleright\triangleright$ 次のトラック選択
- 20 \triangleleft 早戻し検索
- 21 \blacktriangleright 早送り検索

灰色で記載しているキー、および上記の説明に含まれていないキー操作は本機では使用しませんが、他のリン製品で使用することがあります。

リモコンモード

AKURATE KONTROL がリモコンキーでうまく操作できない場合、リモコンが Amp モードになっていない可能性があります。

このリモコンは、LINN の各種製品をより単純でわかりやすくコントロールできるように設計されています。そのため、リモコンはさまざまなリモコンモードで操作することができ、選択した各モードに基づいてキーの機能が割り当てられます。リモコンモードは、キーを押すと点灯するリモコン左上の LED によって表示されます。

リモコンを AKURATE CD プレーヤー用のみに使うのであれば、リモコンモードを変更する必要はありません。リモコンは Disc (ディスク) モードでご使用ください (キーを押すと DVD または CD の LED が点灯します)。

Disc (ディスク) モード — リモコンを Disc (ディスク) モードに設定するには、「DVD」キーを押します。DVD 機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、キーを押すたびに DVD の LED が点灯します。

AKURATE CD プレーヤーとともに LINN のプリアンプやシステムコントローラーをお使いの場合、同じリモコンで双方の機器をご操作いただけます。一部の機能は、「DVD」および「AMP」キーを使ってリモコンモードを切り替える必要があります。

CD / DVD モード

リモコンには、DVD および CD モードという2つの異なる Disc (ディスク) モードがあります。デフォルトでは、CD コマンドに加え、関連する DVD コマンド (再生、停止、スキップなど) に応答するように設定されています。AKURATE CD プレーヤーとともに他の DVD プレーヤーをお使いになる場合、本機が DVD コマンドを無視するように設定すれば、このリモコンを CD / DVD モード間で適宜切り替えて両機に使用できるようになります。詳細は「ユーザーオプション」の「DVD コマンド」の項 (17 ページ) をご参照ください。

CD モード — リモコンを CD モードに設定するには「SHIFT」+「DVD」を押します。CD 機能がリモコン上の主要なキーに割り当てられ、キーを押すたびに CD の LED が点灯します。

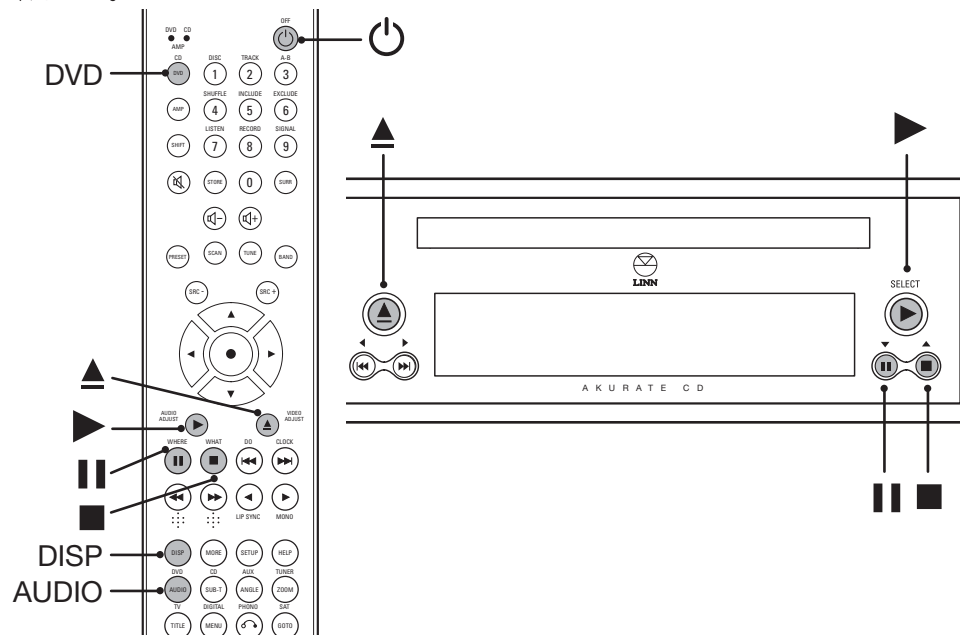
操作

基本コントロール


このセクションでは、AKURATE CD プレーヤーでディスクを再生する方法と基本コントロールを解説します。

重要：

リモコンの「DVD」を押すと、リモコンが Disc (ディスク) モードに切り替わります。本機を操作するときは、リモコンは Disc (ディスク) モードになっていなければなりません。このリモコンを AKURATE CD プレーヤーのみで使用の場合は、この操作は一度のみ行います。詳細は「リモコンモード」の項 (7 ページ) をご参照ください。



スタンバイモード

最初に電源を入れたとき、本機はスタンバイモードとなり、ディスプレイにはスタンバイのシンボルである  が表示されます。

本機のスタンバイモードを解除する：

- リモコンの 、あるいはフロントパネルの任意のボタンを押す。

本機をスタンバイモードにする：



- リモコンの  を押すか、フロントパネルの  を押し続けてしばらくホールドします。

注記：

スタンバイモードは消費電力を抑えるため、本機を短時間使用しない場合やリモート操作でスイッチを入れる必要がある場合に適しています。長時間使用しない場合は、主電源をオフにする (背面の電源スイッチを切るまたは電源プラグを抜く) ことをお勧めします。

ディスクの再生

ディスク再生：

-  を押します。
- 再生する面を下にしてディスクを入れます。
-  を押します。
- ディスクトレイが閉まり、自動的に再生が始まります。

注記：

ディスクトレイを軽く押して閉めることもできます。

ディスク再生面にキズをつけないように気をつけてください。ディスクにキズがあると正しく再生できないことがあります。

ディスクの再生が始まるまで 15 秒ほどかかることがあります。

本体内部にホコリが入りますので、ディスクトレイは開けたままにしないでください。

ディスクの一時停止：

- **||** を押します。
- **▶** を押すと、再生が始まります。

再生を停止する：

- **■** を押します。

ディスクを取り出す：

- **▲** を押します。
- ディスクを取り出し、**▲** を押すか、ディスクトレイを軽く押します。

ディスプレイ

前面パネルに表示されるシンボルの意味

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| ▶ 再生 | ▶▶ ゆっくりと早送り (スローサーチ) |
| 一時停止 | ◀◀ ゆっくりと早戻し (スロー逆サーチ) |
| ■ 停止 | ▶▶ スキャン再生 |
| ▶▶ 次のトラックへスキップする | ◀◀ スキャン逆再生 |
| ◀◀ 前のトラックへスキップする | ↺ 繰り返し (リピート) |
| ▶▶ 早送り (サーチ) | ●●● ディスプレイのスリープ |
| ◀◀ 早戻し (逆サーチ) | ⏻ スタンバイ |

ディスク情報の表示

前面パネルおよびディスプレイ装置の画面には、挿入されているディスク情報が表示されます。

リモコンの「DISP」を押すたびに、次の順序で情報が表示されます。

トラックの経過時間
トラックの残り時間
グループ/ディスクの経過時間
グループ/ディスクの残り時間
トラック名 (SACD のみ)

追加的なディスク情報が前面パネルの時間表示の左右に表示されます。

CD, SACD	
時間表示の左	全体のトラック数
時間表示の右	現在のトラック番号
DVD-Audio	
時間表示の左	再生中のグループ番号
時間表示の右	再生中のトラック番号

SACDの再生

SACDは最大3つのレイヤーを使用し、各レイヤーで異なる音声フォーマットを収録することができます。音質水準が高い順にSACDマルチ(高品質音声5.1チャンネル)、SACDステレオ(高品質音声2チャンネル)、CDステレオ(標準CD音声2チャンネル)です。

本機にSACDを入れると、前回SACDを再生したときに選択されたフォーマットがデフォルトとして使われます。再生するディスクにそのエリアが存在しないと、その次に最適なフォーマットが選ばれます。本機が「2チャンネル」(「ユーザーオプション」の「チャンネル設定」の項(17ページ)を参照)に設定されている場合、マルチチャンネル音声フォーマットはステレオに合わせてダウンミックスされます。

再生可能なフォーマットから、お聴きになりたいものをご自分で選択することができます。

方法:

フォーマットを変更するには、ディスクを停止させる必要があります。

- リモコンの「AUDIO」を繰り返し押し、前面パネルに希望のフォーマットを表示させます。
- ▶ を押します。前面パネルの▶ シンボルが点滅し、コマンドの受け入れを知らせます。指示したフォーマットを本機が選択し、再生がスタートします。

DVD オーディオの再生

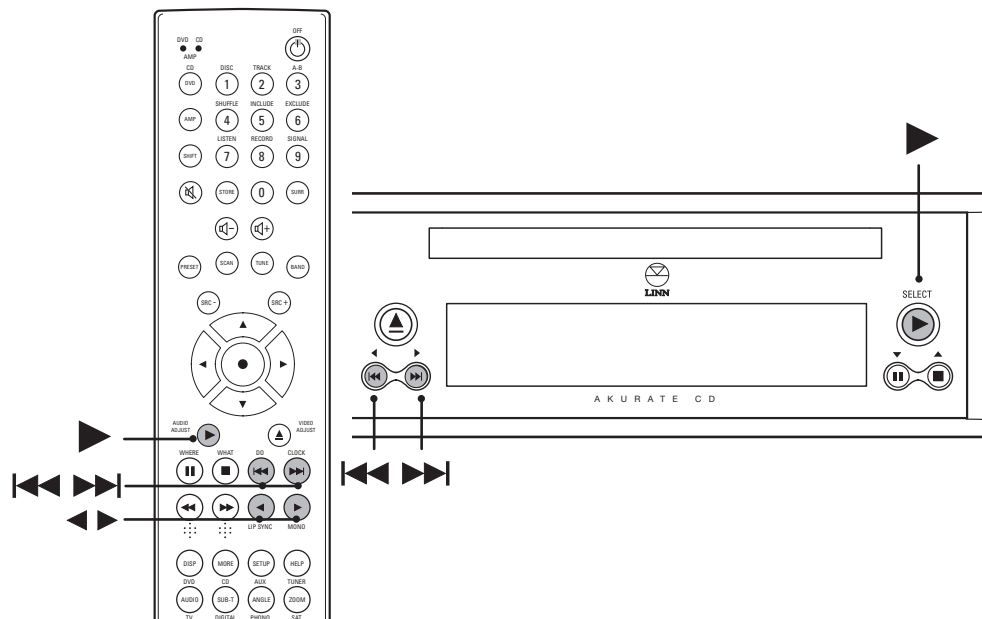
DVD オーディオディスクは、ステレオ(2チャンネル)とサラウンドサウンド(マルチチャンネル)の両方のフォーマットで再生することができます。

AKURATE CD プレーヤーにDVD オーディオディスクを挿入すると、デフォルトではマルチチャンネルフォーマットで再生します。マルチチャンネルフォーマットがない場合は、ステレオフォーマットで再生されます。本機が「2チャンネル」(「ユーザーオプション」の「チャンネル設定」の項(17ページ)を参照)に設定されている場合、マルチチャンネル音声フォーマットはステレオに合わせてダウンミックスされます。

DVD オーディオが読み込まれるとAKURATE CD プレーヤーは自動的に再生を始めます。再生操作には、基本コントロール(再生、停止、トラックのスキップなど)が通常通り使えます。DVD オーディオディスクは通常、メニューを選ぶのにテレビなどのディスプレイ装置が必要です。AKURATE CD プレーヤーにはディスプレイ装置への接続がないため、本機からDVD オーディオメニューは使用できません。

ディスクナビゲーションコントロール

このセクションでは、特定のトラックを捜して選択する方法と、トラック間のサーチとスキャンの方法について解説します。



トラックのスキップ

ディスクのトラックの前後にスキップする：

- 前にスキップするには、▶▶ を繰り返し押します。
- 後ろにスキップするには、◀◀ を繰り返し押します。

サーチ

ディスク再生中に早送りあるいは早戻しでサーチする：

- 早送りするには ▶▶ を押し続けます。
- 早戻しするには ◀◀ を押し続けます。

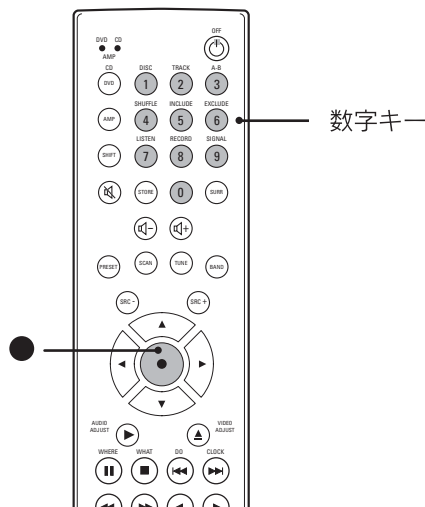
早送リスキャン

ディスク再生中に早送りあるいは早戻しでスキャンする：

- 2倍速再生するにはリモコンの ▶ を押します。
▶ を押すごとに4倍速再生、6倍速再生、8倍速再生となります。
- ▶ を押すと通常再生に戻ります。
- 2倍速逆再生するには ◀ を押します。
◀ を押すごとに4倍速、6倍速、8倍速逆再生となります。
- ▶ を押すと通常逆再生に戻ります。

ダイレクトトラックアクセス

リモコンの数字キーを使用すると、再生したいトラックに直接移動できます。



特定のトラックを選ぶ：

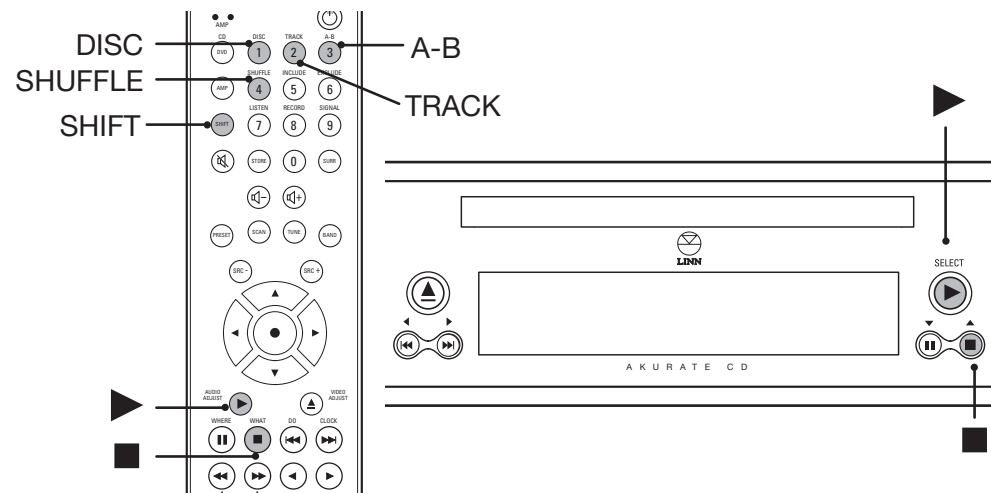
- リモコンの適切な数字キーを押します。
- ● を押して選択を確定するか、あるいはそのまま数秒待つとそのトラックを自動的に選択します。

注記：

ダイレクトトラックアクセスは、ディスクが再生中、停止、取り出し(ディスクが入ったトレイがオープンしている場合)のいずれの状態でも行うことができます。

その他のコントロール

このセクションでは、Repeat (繰り返し再生)、Shuffle (シャッフル)、Program (プログラム) 機能を使ったより高度な操作について解説します。



トラックの繰り返し再生

再生中のトラックの頭に戻って再生する：

- ▶ を押します。

トラックの頭から再生が始まります。

Repeat (繰り返し再生)

「repeat」機能を使用すると、ディスクの全部または一部を繰り返し再生できます。

Repeat disc (ディスクの繰り返し再生)

ディスクを全て繰り返し再生する：

- ディスク再生を開始します。
- リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「DISC」(数字キーの1)を押します。前面パネルに「ALL」と表示されます。

ディスクが終わると、自動的に再生を繰り返します。

「Repeat disc」機能をキャンセルする：

- リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「DISC」（数字キーの1）を押します。

あるいは

- ディスクを取り出します。

Repeat track (トラックの繰り返し再生)

1つのトラックを繰り返し再生する：

- トラック再生を開始します。
- リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「TRACK」（数字キーの2）を押します。前面パネルに「ONE」と表示されます。

トラックが終わると、自動的に再生を繰り返します。

「Repeat track」機能をキャンセルする：

- リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「TRACK」（数字キーの2）を押します。

あるいは

- ディスクを取り出します。

セクションの繰り返し再生

ディスクの指定セクションを繰り返し再生する：

- 繰り返し再生したい部分の最初で、リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「A-B」（数字キーの3）を短く押します。前面パネルに「A-」と表示されます。
- 繰り返し再生したい部分の最後まで再生を続けます。
- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「A-B」を短く押します。前面パネルに「A-B」と表示されます。

「B」ポイントが設定されると、指定したセクションが自動的に繰り返し再生されます。

セクション繰り返し再生モードをキャンセルし、通常再生を続ける

- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「A-B」を押します。

Shuffle (シャッフル)

Shuffle機能では、ディスクのトラックをランダムに再生します。

再生順にトラックをシャッフルする：

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

- リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」（数字キーの4）を押します。前面パネルに「SHF」と表示されます。
- ▶ を押すと再生が始まります。

シャッフルモードをキャンセルする：

- ■ を押します。
- 「SHIFT」を押し、2秒以内に「SHUFFLE」を押します。

あるいは

- ディスクを取り出します。

注記：

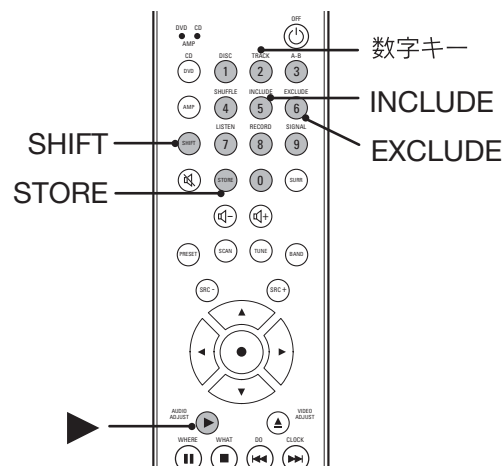
Shuffle (シャッフル) 機能はDVD オーディオでは使用できません。

Program (プログラム) (「Include (追加)」と「Exclude (除外)」)

Program (プログラム) 機能によって、ディスク再生方法をカスタマイズすることができます。ディスクから複数のトラックを選択してお好みの順序で再生 (Include) したり、特定のトラックを除いて通常の再生 (Exclude) をしたりすることも可能です。

注記：

Program (プログラム) 機能はDVD オーディオでは使用できません。



プログラム再生

ディスク中で再生したいトラックだけを選ぶプログラムモードです。

再生するトラックを選ぶ：

この機能は、ディスクを停止させてから操作します。

1. リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「INCLUDE」(数字キーの5)を押します。前面パネルに「Prg: 01:00」「INC」と表示されます。
2. リモコンの数字キーを使用して、再生リストに追加したい最初のトラックの番号を入力します。

3. 「STORE」を押して保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、指定したいトラックすべてを選択保存します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、指定したトラックの再生を開始します。

保存したプログラムを消去する／「プログラム再生」モードを解除する：

- リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「INCLUDE」(数字キーの5)を押します。

除外再生

ディスク中で再生したくないトラックを選択して除外するプログラムモードです。

再生から除外するトラックを選択する：

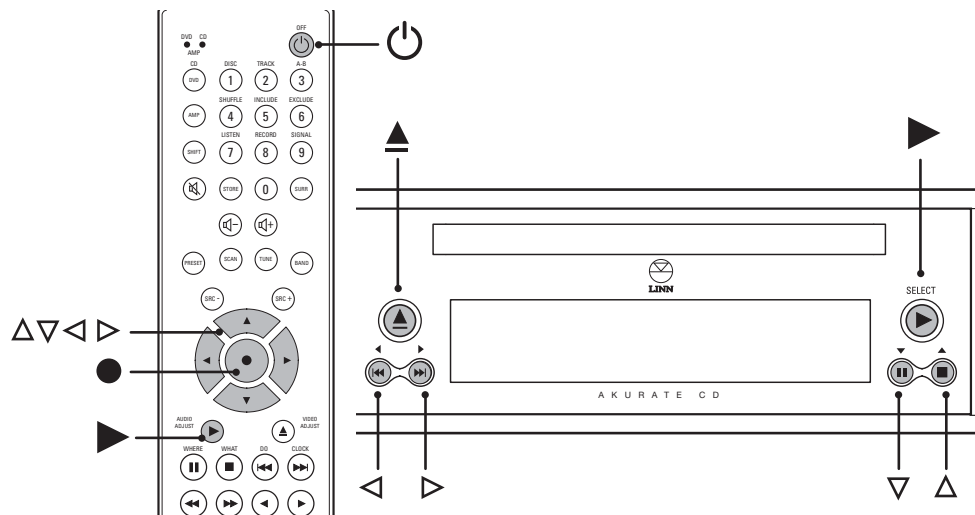
1. 「SHIFT」を押し、2秒以内に「EXCLUDE」(数字キーの6)を押します。前面パネルのディスプレイに「Prg: 01:00」「EXC」と表示されます。
2. 数字キーで除外するトラック番号を入力します。
3. 「STORE」を押して保存し、次のステップに進みます。
4. 上記の2と3の手順を繰り返して、除外したいトラックすべてを選択します。
5. ▶ を押してプログラムを保存し、除外しなかったトラックの再生を開始します。

保存したプログラムを消去する／「除外再生」モードを解除する：




- リモコンの「SHIFT」を押し、2秒以内に「EXCLUDE」(数字キーの6)を押します。

ユーザーオプション





ここでは、ご使用になる方の要望に合わせて AKURATE CD の機能を設定する方法を解説します。




ユーザーオプション設定モードに入る：

- リモコンの  ボタンを押すか、フロントパネルの  を押し続けてスタンバイモードに入るまでホールドします。
- 前面パネルの  を押し続けて、「User Options」の表示を出します。

ユーザーオプション設定を変える：


- 前面パネルかリモコンの  か  を繰り返し押すか、押し続けるかして、変更するユーザーオプションを選びます。
-  か  を繰り返し押すか、押し続けるかして、設定を変更します。

ユーザーオプションを工場出荷時設定値に戻す：

- 変更するユーザーオプションを選びます。
- リモコンの  を押します。

デフォルト値は、前面パネルディスプレイで「*」付きで表示されます。

設定を保存して終了する：

- 前面パネルかリモコンの  を押します。

ユーザーオプション一覧

本機のユーザーオプションを以下の表に示します。それぞれ、簡単な説明と選択可能なオプションを記載しています。デフォルト設定値は太字で示しています (前面パネル表示は「*」で示しています)。

オプション	内容	設定
Display Brightness (ディスプレイの輝度)	前面パネルのディスプレイの明るさを調整します。「AUTO」設定では、室内の照明レベルに基づいて自動的に輝度が決まります (周囲が明るいほどディスプレイも明るくなります)。	AUTO 2% - 100%
Sleep Display Delay (スリープディスプレイ遅延)	本機のスリープ画面 (3つの点) が前面パネルに表示されるまでの秒数を設定します。	OFF 0分10秒から 5分00秒 (10秒単位)
Front Panel IR Commands (フロントパネルからのリモコン操作)	「ACCEPTED」に設定すると前面パネルの赤外線レシーバーを介してコマンドを受信します。	ACCEPTED IGNORED
Pass IR to Remote Out (赤外線入力からリモート出力)	「ENABLED」に設定すると、前面パネルに組み込まれているレシーバーが受信した赤外線コマンドを REMOTE OUT 端子からそのまま出力します。赤外線コマンドが非作動でも機能します。	ENABLED DISABLED
Pass Remote In To Out (リモート入力からリモート出力)	「ENABLED」に設定すると、REMOTE IN 端子で受信した RC5 コマンドを REMOTE OUT からそのまま出力します。	ENABLED DISABLED

オプション	内容	設定
SPDIF Out (SPDIF出力)	<p>本機のデジタル音声出力をご使用にならない場合は「OFF」に設定します。</p> <p>本機のデジタル出力のいずれかがリンシステムコントローラー、その他外部音声デコーダー、その他の機器に接続されていたら、「RAW」とします。</p> <p>外部デジタルソース (DAT プレイヤーなど) への録音を行う場合は、「LtRt PCM」に設定します。</p>	RAW LtRt PCM OFF
LPCM Output (LPCM出力) (デジタル出力のみ)	<p>本機のデジタル出力のいずれかがリン Akurate Kontrol やその他サンプリングレート 96kHz に対応するプロセッサに接続されていたら、「LPCM 96K」とします。</p> <p>外部プロセッサがサンプリングレート 96kHz に対応しない場合は、「LPCM 48K」にしてください。</p> <p>注記 「LPCM 96K」に設定しても 48kHz しか出力しないディスクもあります。</p> <p>SACD や DVD オーディオディスクからの音声信号はアナログ出力のみとなります。これらのディスク形式については、デジタル出力はありません。</p>	LPCM 96k LPCM 48k

オプション	内容	設定
Channel Setup (チャンネル設定) (アナログ出力専用のオプションです)	本機を2チャンネルシステムで使う場合に「2 CHANNEL」に設定します。 (そのようなシステムでは、SACDやDVDオーディオの5.1チャンネルマテリアルは2チャンネルにダウンミックスされます。) AKURATE CDプレーヤーを3チャンネル以上のシステムで使う場合は、「5.1 CHANNEL」とします。	2 CHANNEL 5.1 CHANNEL
Downmix (ダウンミックス)	Dolby Pro Logic を利用される場合は「LtRt」、それ以外では「PURE STEREO」を選択します。	PURE STEREO LtRt
RS232 Baudrate (RS232 ボーレート)	RS232 制御のボーレートを設定します。	9600 4800 ~ 230400 (9 オプション)
RS232 Events (RS232 情報通信)	「ENABLED」にすると、本機の内部ステータス情報をRS232データ対応の外部機器に送信します。	ENABLED DISABLED
RS232 Start Message (RS232 スタートメッセージ)	「ENABLED」にすると、本機のスイッチが入ったときRS232開始メッセージを出します。	ENABLED DISABLED

オプション	内容	設定
DVD commands (DVD コマンドの受信)	「ACCEPTED」に設定した場合、リモコンがDVDモードであってもCDモードであっても、リモコンからのPlay、Pause、Stop、Skip等の本機関連DVDコマンドが本機にて受信可能になります。 「IGNORED」に設定した場合、これらのコマンドはリモコンがCDモードの場合にのみ受信されます。 詳細は「リモコン」(7ページ)をご参照ください。	ACCEPTED IGNORED
Scroll SACD text (SACDトラック情報のスクロール)	ONCE : SACDのトラック情報が前面パネルに1度だけスクロールされます。 LOOP : SACDのトラック情報が前面パネルに繰り返しスクロールされます。 OFF : SACDのトラック情報は前面パネルに表示されません。	ONCE LOOP OFF

仕様

電源	
電源	AC 100 ~ 120 V、AC 220 ~ 240 V
商用電源周波数範囲	50 ~ 60 Hz
消費電力	約 40W
形状	
重量	4.5 kg
外形寸法	W 381 mm, D 360 mm, H 80 mm

インターレース方式映像				
アナログ音声				
信号	コネクタ	レベル	インピーダンス	注記
アンバランスト	RCA x 8	2 Vrms	300 Ω	フロント L(A), L(B), R(A), R(B); リア L & R センター&サブ
バランスト	XLR male x 2	4 Vrms	600 Ω	フロント L & R (pin 1 gnd, pin 2 hot, pin 3 cold)
デジタル音声				
信号	コネクタ	レベル	インピーダンス	注記
SPDIF	BNC	500 mVp-p	75 Ω	電気
	TOSLINK	-	-	オプティカル

データとコントロール				
信号	コネクタ	レベル	インピーダンス	注記
RS232	RJ11 x 2	-	-	-
Remote In/Out	RCA x 2	4 mA	-	KNEKT 専用

保証とサービス

本製品はお買い上げになった国できちんご使用いただけるように調整されており、お客様の合法的権利が制限を受けることはありません。加えて、製造上の欠陥によってトラブルが発生した場合には、弊社が無償にて部品を交換いたします。詳しくは販売店までお問い合わせください。

ヨーロッパの各地、アメリカ合衆国、その他いくつかの市場では、お買い上げをご登録いただいたお客様に対して、拡大保証が適用される場合があります。製品に添付された登録カードには販売店のスタンプが必要です。なるべく早めにご返送ください。あるいは www.linn.co.uk からオンラインで製品の登録ができます。

警告

製品をむやみに改造解体した場合は保証が無効になります。ユーザーが修理・調節すべき内部部品はありません。製品サービスに関するすべての問い合わせは正規販売店でのみ対応しています。

技術サポート、お問い合わせ

技術サポート、製品についてのお問合せは、最寄りの販売店またはリン・ジャパンまでご連絡ください。

販売店・代理店の詳細については、下記のリンのウェブサイト www.linn.co.uk にご確認ください。

www.linn.co.uk

重要

製品を購入した日付などを記載した領収書を保存しておいてください。

修理のための輸送の際には、必ず製品に保険をかけてください。

Linn Products Limited

Glasgow Road
Waterfoot
Eglesham
Glasgow G76 0EQ
Scotland, UK

電話： +44 (0)141 307 7777
FAX： +44 (0)141 644 4262
ヘルプライン： 0500 888909
電子メール： helpline@linn.co.uk
ウェブサイト： www.linn.co.uk

Linn Incorporated

8787 Perimeter Park Boulevard
Jacksonville
FL 32216 USA

電話： +1 (904) 645 5242
FAX： +1 (904) 645 7275
ヘルプライン： 888-671-LINN
電子メール： helpline@linninc.com
ウェブサイト： www.linninc.com

Linn Deutschland GmbH

Hühnerposten 1d
D-20097 Hamburg
Deutschland

電話： +49-(0) 40-890 660-0
FAX： +49-(0) 40-890 660-29
電子メール： info@linngmbh.de
ウェブサイト： www.linn.co.uk